

【記入例】

様式第1号（第8条関係）

富士見市空家除却補助金交付申請書

原則、未記入のまま持参し、窓口での申請時に記入してください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）富士見市長

所有者や相続人が複数いる場合は、代表者の氏名等を記入し申請してください。その他の人は同意書を提出してください。

申請者

住所 **富士見市大字鶴馬1800-X**
氏名 **富士見 太郎** 印
連絡先 **049-251-XXXX**

富士見市空家除却補助金の交付を受けたいので、補助金等の交付手続等に関する規則第4条の規定により、下記のとおり申請します。

なお、市長がこの補助金に係る交付決定の審査のため、私の市税の課税及び納付に関する情報を利用することに同意します。

記

1 交付申請額 **300,000円**

収支予算書を確認し、補助対象額の1/3（上限30万円）の金額を記入してください。（千円未満切り捨て）
金額が合っているか不安な場合は、未記入のまま申請時に持参してください。

2 添付書類

- (1) 事業計画書（様式第2号）
- (2) 収支予算書（様式第3号）
- (3) 補助対象空家の案内図
- (4) 補助対象空家の登記事項証明書又は固定資産資産証明書
- (5) 所有者等であることを確認することができる書類
- (6) 補助対象事業に要する費用の見積書の写し
- (7) 補助対象空家の現況写真
- (8) 第5条第1項に規定する工事を行う建設業者の建設業許可証又は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第23条第2項の規定による通知の写し
- (9) 補助対象空家が1年以上居住及び使用されていないことがわかるもの
- (10) 補助対象空家に他の所有者等がいる場合にあっては、補助対象事業の実施について当該補助対象空家の他の所有者等全員から得た同意書
- (11) その他市長が必要と認めるもの

【記入例】

様式第2号（第8条関係）

事業計画書

可能であれば登記簿等を参照のうえ、地名地番を記入してください。不明な場合は、住所でも結構です。

空家所在地	富士見市 大字鶴馬1800 -△		
事業費(見積額)	1,200,000 円		
補助金交付申請額	300,000 円		
事業実施期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日から令和〇〇年〇〇月〇〇日まで		
工事施工予定業者	名称	(株)〇〇〇〇〇〇〇〇建設	
	住所	富士見市〇〇〇丁目〇〇-〇〇	
	連絡先	049-251-XXXX	
	許可番号 (登録番号)	<input checked="" type="checkbox"/> 建設工事業許可	埼玉県 大臣(知事) XXXX 号
		<input type="checkbox"/> 解体工事業登録	_____ 知事 _____ 号
跡地利用計画	(例) ①賃貸駐車場として利用予定(令和〇〇年〇〇月頃から) ②売却予定(令和〇〇年〇〇月頃) ③建替え(令和〇〇年〇〇月頃)		
備考	記入例を参考に除却後に更地にした土地(跡地)の利用予定を記入してください。一定期間利用予定がない場合は、ご相談ください。		

税抜きの金額を記入してください。

申請書と同一の金額を記入してください。

交付決定後に事業着手(工事)する必要があるため、開始日は申請日から2週間以上後に設定してください。

【記入例】

様式第3号（第8条関係）

収支予算書

1 収入の部

(単位 円)

科目	予算額	摘要
自己資金	900,000	
市補助金	300,000	
合計	1,200,000	

2 支出の部

(単位 円)

科目	予算額		摘要
		うち補助対象額	
解体費	850,000	850,000	
廃材撤去費	200,000	200,000	
家財処分費	50,000	0	
諸経費	100,000	95,454	
合計	1,200,000	1,145,454	

左欄には見積書等を参考に科目に応じて税抜き金額を記入してください。左欄の金額のうち補助対象経費に該当する金額を記入してください。不明な場合は、未記入のまま申請時に持参してください。

補助申請額は補助対象額の合計の1/3（上限30万円）の金額です。
※ 千円未満切り捨て。

【補助対象経費】

補助対象空家の所在する敷地を更地にするために補助対象者が発注する工事であって、補助対象空家の除却並びに廃材の撤去及び処分（家財処分は除く。）に係る工事に要する費用。

例) 解体費、樹木伐採費、ブロック塀等撤去費、廃材撤去費、養生費、重機等使用費、足場設置費、補助対象経費に該当する工事に係る諸経費など